



伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 藤澤洋二 幹事 小松献臣 会報委員長 城取健太 第2909回例会 2020.9.3 No.1569



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度 RI テーマ

Rotary Opens Opportunities

ソング 君が代 奉仕の理想

ビジター・ゲスト紹介

米山奨学生 サンギートさん

会長談話 藤澤洋二会長

今日は、伊那バスで栽培しているイチゴについてお話しします。

伊那バスでは、2015年にアグリ事業部を作りイチゴの栽培を始めて、今年で5年目になります。西箕輪の工業団地の南側に農地を借り、10数棟のハウスで、4人の社員とアルバイトで、夏秋イチゴの生産を行っています。

イチゴの収穫はすべて手作業で、朝6時頃から行きます。実が傷まないようになるべく硬いうちに収穫します。イチゴの圃場の事務所棟には、炊飯器が備えてあり、早朝より収穫の一仕事をして、簡単な朝ご飯をとり、また仕事にかかることもあります。昼食は弁当持参です。

イチゴは普通、12月から5月頃まで生産されます。6月～11月までの間は、ケーキなど需要はありますが、普通のイチゴが収穫されないため、多くはアメリカからの輸入イチゴに頼っていました。また、夏秋に収穫されるこれまでの日本のイチゴは、普通の冬イチゴに比べて硬く甘みが弱かったのです。

夏も秋も美味しい日本のイチゴが食べたいという声に応じて、信州大学農学部の大井美知男教授により、6月末から11月末まで収穫できる夏秋イチゴ、品種名信大BS 8-9が開発されました。

夏秋イチゴは硬く甘みが弱いという常識を覆して、信大BS 8-9は、豊かな香りを持ち、糖度が高く、甘く濃い味をしています。カットすると断面が赤くキレイでスイーツに向いています。

伊那バスでは、信大BS 8-9に「恋姫」という名前・



ブランドをつけて、県内や関東・関西方面のケーキ屋、ホテルなどに販売しています。その中の新宿高野さん、帝国ホテルさんは、白鳥伊那市長さんにご紹介いただきました。

イチゴの品質については、幸い、お取引様より高く評価いただいております。しかしながら、信大BS 8-9は、栽培技術、ノウハウがまだ確立されておらず、生産が間に合わないこともあり、必ずしも注文に応じられておりません。高品質のイチゴを安定的に多く生産する技術を確立することが課題です。

県内では北信の二葉堂さん、東京では新宿高野さんのイチゴパフェなどで、伊那バスの「恋姫」イチゴをお試しいただきたいと思います。

誕生祝

宮下光一・
中川博司・
清水紀光



結婚記念日祝

中山一郎・
八木拓真



在籍祝

宮下裕(16)・
小坂樫男(10)・
原田和愛(3)・
増田清(3)



幹事報告 別紙をご覧ください。

委員会報告 9月号「友」の紹介中山一郎副会長

横組み P3 ホルガー・クナーク R I

会長メッセージは、青少年交換。

ローターアクトについて。

今月は「基本的教育と識字率向上月間」と「ロータリーの友月間」



P7~11 「読んで、感じて、自分の考えを表し、正しい情報を選択できることが大切」と、特集のタイトルに「読感表選」と付けて、和歌山県御坊ロータリークラブ、山形県高島ロータリークラブ、Eクラブの3クラブの活動紹介。

P12~15「友」をプラットフォームに新しい交流をと呼び掛け、具体的な方法が書いてあります。

縦組み P4~P8 今、新聞、雑誌、Uチューブなどのネットに多く取り上げられている、出口治明氏の地区大会講演録。(出口氏についての説明省略) 一行目の現状分析の仕方は、タテ思考で昔はどう考えたか、ヨコ思考で外国人を含む他の人の意見はどうか、最後に算数、データに基づく分析をするという方法だと書いてあります。その結果、夫婦別姓はどうか、日本企業の競争力は、ユニコーンはうまれるのか、ダイバーシティとラグビーワールドカップについて、と面白く読み進めるので是非お読み下さい。結論は、社会は多様性が大事であり、「個性のとがった人、変態が未来をつくる」です。

P9~P12 この人訪ねては「益子焼き陶壁作家の藤原郁三さん」の取材記事です。

出席報告 会員数55名 内出席免除16名
長欠0名 出席者39名 事前メーカーキャップ1名
出席率81.63%

ニコニコボックス

中山一郎 飯田東 RC からサンギート君に卓話依頼があり、9/1 行って来ました。ほぼ全員が個々にニコ BOX で熱烈歓迎してくれて驚きました。

山田 益 9/10 例会は成田ガバナーの公式訪問です。よろしくお願ひします。

赤羽弘之 唐澤洋祐会員卓話をありがとうございます。

唐澤洋祐 本日卓話をさせて頂きます。宜しくお願ひ致します。

在籍祝 小坂樫男、原田和愛、増田 清
ラッキー賞 笠井俊朗・吉澤祥文・橋爪利行・
小坂樫男・八木拓真・小林旬子・赤羽弘之



会員卓話 唐澤洋祐会員 演題「私の履歴書」

私は昭和 59 年 7 月 26 日に長野県箕輪町で生まれましたが、辰野町に引っ越し約 18 年間辰野町で暮らしました。家族は父、母、私の 3 人です。(中略)



大学受験の時、ちょうど、法科大学院制度が始まり、司法試験の合格者数を増やすといういわゆる司法改革が始まりました。司法試験といえば当時でも合格率が数%という難関試験の一つでしたが、法科大学院を卒業すれば法律関係の仕事に就けるかもしれないと思い、漠然と司法試験を目指すようになりました。お恥ずかしい話ですが、高い志があったわけではなく、当時は難しい試験に合格できれば、なんか格好いいかなという邪な動機でした。法学部のある大学をいくつか受験し、その中で立教大学の法学部に進学することになりました。大学の時には、授業やゼミで、主に民法の担保物権や刑法の不作为犯の研究をしていました。

その傍ら、法律学の討論会をする関東学生法学連盟という関東 8 大学のサークル団体に所属し、春と秋に開催される討論会に向けて、夜遅くまでサークルのメンバーと議論し合っていました。そのかいもあって、大学 3 年生の秋には、大学として立教大学初の総合優勝をすることができ、懇親会の時にメンバー全員で泣きながら喜び合ったことを覚えています。

さて、大学を卒業する頃、司法試験の受験資格を得るため、法科大学院をいくつか受験し、明治大学の法科大学院に進学しました。明治大学の法科大学院はまさに司法試験合格のための大学院ということで、平日は朝 9 時前に登校し、授業を受け、宿題や課題をこなし、夜は司法試験の受験勉強をして、終電に乗って帰る、休日も専用の自習室があるのでそこに通って勉強するという生活を 2 年間しました。今にして思えばよくあのような体力や集中力があったものだと思います

が、同じ志を持つ仲間との勉強は本当に楽しく、やりがいがありました。また支援してくれた両親に支えられていたと思います。

また、この頃にダイエットにも成功しました。私は昔から食べるのが大好きで、とにかく食事の量が多く、子供のころからずっと太っておりました。そのため、大学4年生の頃には体重が111キロまで増えてしまいました。さすがにこれは良くないと思い、ダイエットを始めました。一つのダイエットはとにかく飽きるのので、常に巷にあるダイエットを2、3種類組み合わせ、飽きたら別の物を取り入れるということが良かったと思いました。

平成23年、東北の震災があった年、まだ混乱が落ち着かない中、東京で司法試験を受験しました。当時の司法試験は、合格率は高くなりましたが、5年間に3回の受験で合格できなければ受験資格を喪失するというもので、試験の日程も1日4時間から7時間の試験が4日間続くというもので、試験としてはそれなりに過酷なものでした。私はその年になんとか1回で合格することができました。合格発表の時に受験番号が法務省の外に張り出されるのですが、膝から崩れ落ちるほど嬉しかったと記憶しております。すぐに両親にも報告しましたが、両親も大変喜んでくれました。司法試験の受験番号は今でも覚えております。

司法試験に合格すると、司法研修所に所属し、司法修習生という立場になります。司法修習生は全国各都道府県の裁判所のある地域に引っ越して1年間研修を受けることになります。研修先の地域の希望を出すことはできますが、希望通りの地域になるわけではありません。私は長野県を第1希望とし、たまたま希望通り長野県で1年間研修を受けることができました。

司法研修所を卒業後、平成24年12月に弁護士登録し、長野市にある夜明けの翼法律事務所に就職しました。夜明けの翼法律事務所では、交通事故、相続、男女トラブル、刑事弁護、消費者問題、債務整理という個人の事件から、企業間トラブル、労働問題等の会社関係の事件まで幅広く担当していました。もともと、故郷で事務所を開業しようと考えていたため、3年間の勤務の後、独立しました。

平成28年1月に伊那市荒井で唐澤洋祐法律事務所を開業しました。現在、5年目の法律事務所

になります。担当する事件は、長野市の時と同様に個人の事件から企業の事件まで幅広く担当しております。事件の内容として、長野市と伊那市でそこまで大きな違いがあるわけではありませんが、伊那市は、男女トラブルや離婚問題だと、男性よりも女性の方がパワフルな印象があります。

私は長野県弁護士会に所属しておりますが、弁護士会も会務活動といいまして、弁護士同士で集って奉仕活動を行っております。私は、消費者問題対策委員会の委員長では、高齢者出前講座と題しまして、県内各地の高齢者クラブや高齢者サロンに弁護士3人で出向き、弁護士が高齢者役や詐欺師役をして特殊詐欺に関する劇をして、注意喚起を行っております。さらに、若者向け出張講義と題しまして、県内の各高校に出向いて、これから進学して一人暮らしを始めたり、社会人になったりする高校3年生に向けて、若者がターゲットにされている消費者問題に関する内容の授業をクイズ形式でして、啓蒙活動を行っております。

弁護士は、地域に積極的に溶け込んで、地域の方々に親しんでもらうべきと思い、開業当初から若手経営者の勉強会とか通り町の集まりに参加してきました。また、平成30年3月から伊那商工会議所青年部に所属し、伊那市を盛り上げるために、楽しく活動しています。伊那祭りやどろカップ、お仕事ごっこといった伊那市や上伊那の子供達のためのイベントに参加することができて本当に楽しく活動できております。そこで、知り合った青年部の先輩である本田さんに誘われ、伊那ロータリークラブに参加しました。

最後に、趣味ですが、長野市で就職した時から、アウトドアの趣味を持つとうと思い、登山とスノーボードを始めました。伊那市に来てからは主に登山のみになりましたが、伊那谷から見える山々ですが、辰野町で暮らしていた時にはあまり感じませんでしたが、上京して、長野市で登山を覚えて、帰ってくると、街と山が近く、上高地や白馬に負けないくらいアウトドアの魅力がある地域だと感じております。

まだ、伊那ロータリークラブに加入したばかりで、文字通り何も知らない状態ではありますが、奉仕の心を学び、より一層地域の方々に親しんでもらえるような人間になりたいと思っております。ありがとうございました。